

令和2年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム 椿		施設番号	K346
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和2年度)	改善計画 (令和2年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和3年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があつた場合の実施状況 (令和3年4月30日時点)
について	事業継続のための職員体制計画や体制整備を進める意向をもっています 自然災害および感染症蔓延時の事業継続に対して、出勤できる職員の割合別の計画を策定し、万一の事態に備えていく意向をもっています。また新型コロナウイルスへの対応についても職員のアンケート結果等をまとめており、更なる体制整備につなげていくよう進めています。	事業継続計画作成のため、BCP作成支援特別講座や個別相談を利用し、暫定的に作成しているBDPをより実践的なものへとつなげていく。	1 実施済み  ② 実施予定(令和 3年 10月ごろ)  具体的には以下のとおりです。 BCP作成支援特別講座や個別相談を利用していく。	1 実施済み ( 年 月)  具体的には以下のとおりです。
について	接遇やスピーチロックについて注力した指導と研修実施を予定しています 新入職員については、専門職としての技能向上もさることながら、接遇など社会人として・サービスとしての心構えを指導するよう取り組んでいます。マニュアルの配布、自己評価の実施を通して倫理と規範を学び、施設全体としての資質向上に努めています。今後は更に接遇やスピーチロック等の研修について今後も注力の意向をもっており、外国人技能実習生に対する勉強会、介護福祉士実務者研修の施設内開催も予定しています。	現在のマニュアルや接遇研修をより実践的なものとするため、職員からの意見を参考に、ブラッシュアップしていく。利用者への適切な声かけについても成功例、失敗例をあげつつ、研修を実施していく。 また、外国人職員へも接遇、社会人として、のマナー、サービスとしての心構えをより分かりやすく、研修の中で実践していく。 高度な介護人材を養成するため、介護福祉士実務者研修の施設内開催を行う。	1 実施済み  ② 実施予定(令和 3年 1月ごろ)  具体的には以下のとおりです。 接遇、スピーチロックについての研修の実施(既存の研修の中に組み込む。) 外国人職員へもより分かりやすい研修の実施。 介護福祉士実務者研修の施設内開催	1 実施済み ( 年 月)  具体的には以下のとおりです。
について	入浴設備の改善等により環境の向上を図ることを検討しています 利用者それぞれの対応方法等については職員間で共有しながら支援を進めており、浴室への床暖房の設置、季節湯の実施等工夫した設備と取り組みがなされています。1階設備が個室のみとなっているため外付けのリフト等の設置を検討しており、利用者への健康と衛生上の配慮、職員の身体的負担軽減を図ることを検討しています。	費用もかかることから、法人と継続的に検討を重ねていくこととなると思われる。そのため、費用がゆがらず、すぐ実践できることを探っていくこととする。 リーダー会議、職員会議などで、多くの職員からすぐ実践できる、あるいはフロア内ですでに実践している好取組みなどを他のフロアでも取り入れていくようにしていく。	1 実施済み  ② 実施予定(令和 4年 3月ごろ)  具体的には以下のとおりです。 費用がかかることであるため、費用がかからず、すぐに取り組めることを探り、利用者への健康と衛生上の配慮、職員の身体的負担軽減を図っていく。	1 実施済み ( 年 月)  具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和2年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。

令和元年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム 椿		施設番号	K346
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和2年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があつた場合の実施状況 (令和3年4月30日時点)
について	フロアごとに各種レクリエーションが行われ、多様なメニューの実施により利用者の生活が豊かになるように取り組んでいる。施設では、「日々のレクリエーションを充実させる」ことをスローガンとして掲げている。レクリエーションを実施する時間があまりない場合や、経験の浅い職員だと実施できない場合もあり、レクリエーションの充実・幅をより広げていく必要がある。	(1)フロアごとに行われているレクリエーションを集約する。 (2)新たなレクリエーションを募集する。 (3)レクリエーションの方法や使用具などについて文書化する。	1 実施済み  ② 実施予定(令和2年6月ごろ)  具体的には以下のとおりです。  (1)(2)(3)ともにプロジェクトチームで会議を行い、実施した。その結果、レクリエーションをする時間があまりない場合や比較的経験の浅い職員でも実施できるようにした。	① 実施済み (令和3年 1月)  具体的には以下のとおりです。  経験の浅い職員でもレクリエーションが実施できるよう、簡単なレクリエーションを入れたものをマニュアル化し、職員間で共有している。
について	シルバー人材の活用、障害者雇用の更なる浸透を図る必要がある。	(1)定年(65歳)後の再雇用制度を対象者に事前に周知していく。 (2)現在施設で働いているシルバー人材の方から意見を聞き、今後も継続して働くことができる環境作りに取り組む。 (3)東京障害者職業センターと連携し、本人の希望に基づき、ジョブコーチ制度を活用して、障害者雇用者が働きやすい環境づくりを行う。	① 実施済み  2 実施予定(令和 年 月 日)  具体的には以下のとおりです。  (1)継続して、対象者に実施する。 (2)定期的に年2回、意見を聞く機会を設けた。 (3)対象者にジョブコーチ制度についての説明を行った。	1 実施済み ( 年 月)  具体的には以下のとおりです。
について	利用者支援という側面のみならず、職員のやりがいの面から排泄支援に対する資格取得および委員の上級資格を目指していく。	(1)排泄委員会で資格取得者を定期的に選定していくこととする。 (2)排泄委員は、委員になった年度末までに上級資格を目指す。 (3)資格取得者は、一覧化し、職員玄関などに掲示する。	① 実施済み  2 実施予定(令和 年 月 日)  具体的には以下のとおりです。  (1)、(2)、(3)についてプロジェクトチームで決定し、実施した。	1 実施済み ( 年 月)  具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和2年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。